

## — 鉄 鋼 ニ ュ ー ズ —

**31年の鉄鋼生産高**

鉄鋼連盟の調査によると、31年(1月～12月)の鉄鋼生産高は、高炉鉄 5,703,897 t で前年対比 113.2%、鋼塊は 11,088,651 t でおなじく 117.9%、普通鋼熱間圧延鋼材(一般)は 7,796,620 t でおなじく 116.9% となる。特殊鋼鋼材は年間 490,591 t となり 53.9% のいちじるしい伸びを示した。年間の生産高はつぎのとおりである。(単位 t)

銑鉄： 製鋼用 5,108,194。 鋳物用 595,703 計 5,703,897。

鋼塊： 普通鋼平炉 8,905,761。 同転炉 448,937。 同電炉 880,968。 計 10,235,666。 特殊鋼平炉 60,626。 同電炉 792,359 計 852,985。 合計 11,088,651

一般鋼材： 重軌 314,750。 軽軌 20,129。 鋼矢板 28,503。 大形 308,297。 中形 493,734。 小形 67,121。 リムサッシュ 26,625。 大棒 10,639。 中棒 97,329。 小棒 1,011,087。 管材 257,042。 普線 573,126。 特線 177,818。 原板 1,920,147。 中板 309,537。 薄板 690,854。 広巾帯鋼 891,396。 帯鋼 432,039。 珪素鋼板 90,847。 外輪 75,600 合計 7,796,620

その他： 特殊鋼鋼材 490,591。 普通鋼鋼管 502,972。 冷延広巾帯鋼 173,483。 冷延鋼板 467,335。 プリキ 244,513。 亜鉛鉄板 588,775。

**30年の鉄鋼輸出**

鉄鋼連盟では昨 31 年(1月～12月)の鉄鋼輸出契約高を発表したがそれによると総額 117万 t で、30年の実績の約半分という激減ぶりを示した。これは国内の鉄鋼不足から各メーカーが輸出を自粛した結果だが、輸出価格が上がったため、契約金額は 22000 万ドルと 30年の 3割減に止まった。

昨年の輸出量を品種別にみると、亜鉛鉄板 24 万 t、棒鋼 13 万 t などが重なるものだが、市場別では、インドが 45 万 t で全体の半分を占め、以下カナダ 7 万 t、フィリピン 6 万 t、タイ 5 万 t などの順になっている。

**31年の輸出認証総額**

通産省の発表したところによると 31 年の輸出認証総額は 2,477,814 千ドルで、30 年の 2,008,463 千ドルに比べて 23.4% の上昇を示し、25 年の認証開始以来の最高額を記録した。このような輸出好調の主因は、船舶の輸出が盛んで、31 年の認証総額は 112 隻 207,000

千ドルと 30 年の 52 隻 45,000 千ドルの 4 倍半に伸びたほかに、米国、カナダ、琉球などへの輸出が 30 年にくらべ大巾に増したのをはじめ、インドシナ 3 国向けの ICA 資金(米国国際協力本部資金)による貸付、または台湾、インド、中共向けがいちじるしく伸びたからである。

地域別にみると、清算勘定地域は、アルゼンチン、スウェーデン、イタリア、西独などと清算勘定を廃止したので、30年に比べ 20.2% の減少となつたが、しかしドル地域は 47.1%、ポンド地域もまた 25.3% と大巾に伸びた。

**中山製鋼の 2 基操業**

中山製鋼では、工事費約 6200 万円で進めていた 1 号高炉の改修およびコークス炉、焼結設備などの増設工事が完成、1 月 18 日高炉の火入れ式を行い、待望の 2 基操業に入ることになった。

1 号高炉は公称日産 450 t、実能力 600 t のもので、2 月以降は日産 500 t から 550 t の本格稼働に入ることになっているが、このため今期の同社の銑鉄の生産は 30,000 t 増産となる予定。

**真空造塊の技術提携**

三菱製鋼、日本製鋼、神戸製鋼の鍛造メーカーが共同で西独ボフマー社との間に、真空造塊の技術提携の話が進められている。

鋼塊を鍛造する際、鋼塊中に水素が多少でも入るとひびが生じやすく、従来の製鋼方法では非常に歩止りが悪かった。ところが真空中でこれを行うと、水素がないため製品の歩止りが向上することはもちろん、コストの引下げにもなるというので、最近各国とも真空造塊を行うようになってきた。わが国でも理論的には真空造塊ということは早くからとり上げられていたが、実際に生産に結びつけた研究はなされていなかったものである。

ボフマー社の真空造塊法というのは、取なべにとつた鋼をケースにつぐときに、減圧下で行つて脱ガスをする方法で、すでに数万 t の実績をあげている。この方法によつて、水素、酸素は取なべ中の含有量から 1/2 から 1/3 に減じ、150 t の大形インゴットでも白点(水素によつて生じる)を生じる危険が非常に減少したといわれ、この減圧造塊方法は偉大な発明であつて、これによつて従来全くわからなかった白点発生防止法が明らかとなつた。